

2017(平成29年)

12月13日(水)  
14～17時

くにたち公民館 集会室  
参加費: 無料

定員: 20名 / 要予約

予約: 080-5412-6370 (池谷)

会場(公民館)は国立駅から西に徒歩5分



講師プロフィール いけや けい 池谷 啓

国立に暮らすこと20年余、山里の春野町に移住して7年。山里の魅力発信と定住促進の事業を行っている。仏教書と医学書の編集・執筆の仕事をしたなむかたわら、有機農業を実践。

市民と寺社をつなぐネットワークづくり「神社・寺カフェ」、「納得のいく看とりとおくり」講座などを主催。

静岡県浜松市天竜区春野町在住。NPO法人らくしゃ楽舎理事長。いちりん堂(編集プロダクション)主宰。早稲田大学法学部卒。64歳。ブログは毎日発信、「いちりん堂」「楽舎」で検索。Facebookでも発信。

山里の田んぼ作りと子育てと聞いてみよう。田舎暮らし大丈夫?

「いつか、田舎暮らしをしたい」。そんな夢があっても、さて、どこがいいのか。暮らしていけるのか。費用は。空き家は。仕事は。地域とのつきあい。子育て。いろいろ大丈夫?

あれこれ考えているうちに、時はたってしまう。そうしてやっと田舎暮らしをはじめた。けれど、もう体力がもたない。……なんてこともある。

なので、まずは田舎暮らしの「実際の体験」を聞いてみるのがいい。

講師は、20年間、国立に暮らした。7年前、遠州の山里・春野町に移住。そこは、人口5千の過疎と高齢のまち。耕作放棄地はひろがる。

そんな山里で、編集の仕事をしながらか農業にも挑戦。どうせやるなら完全無農薬・無化学肥料だ。8千平米の田畑と山林で、米と大豆、ブルーベリー、栗などを栽培。

こんなはずじゃなかった。失敗や後悔もたくさん。『人生の楽園』みたいにはいかない。実力が試される。手応え十分。たのしさもしっかりある。そんな田舎暮らし体験を語る。

当日は、時間が許すかぎり、移住相談など、じっくりとおつきあい。

主催: NPO法人 らくしゃ 楽舎

浜松市 中山間地域まちづくり事業